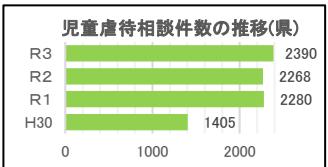
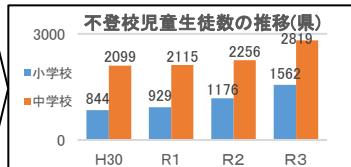


令和5年度「ぎふ いのちの教育」<西濃教育事務所>

- ▼ 不登校児童生徒の増加が続き、若年層の引きこもりや自殺者の増加が社会問題化
- ▼ コロナ禍等を背景に、夢や希望が持ちづらいなど、将来や生きることへの不安が増長
- ◎ 児童生徒の発達の段階に応じて、自他の生命の大切さやかけがえのない生命についての自覚を深める教育を、家庭や地域、関係機関と連携・協働してしていく中で、一人一人によりよく生きようとする意欲や態度を育むことが必要



《幼・小・中・高・特別支援学校》 生きる喜びにふれる / 生命の尊さを知る /かけがえのない生命について考える / よりよく生きることを求める

健康教育	いじめ防止・不登校支援の教育	自殺予防教育	心の教育
<p>●健康と命の大切さ、命の誕生、性に関する理解</p> <p>《体育・保健体育》 ・思春期にあらわれる変化<小4年> ・薬物乱用と健康被害<小6年> ・生殖機能の成熟<中1年> ・異性の尊重と性情報への対処<中1年> ・薬物乱用の害（依存症）と健康<中3年> ・災害時対応、心肺蘇生<中2> 《技術・家庭科》 ・幼児の発達と生活、家族<中3年> 《特別活動（学級活動）》 ・新しい命の誕生<小中> 　　*産婦人科医、新生児内科医による講話 ・正しい性の理解<小中> ・防災教育<小中></p>	<p>●温かい人間関係づくり、居場所と絆づくり</p> <p>《温かい人間関係づくり》 ・協働的な学びによる学習内容の確実な定着 ・児童/生徒会活動を通じた集会活動、異学年、校種間等の交流 ・演劇ワークショップ等の手法を活かした活動 《心の居場所づくり》 ・県民運動を活かした居場所づくり ・家族や地域とのふれあいを通した絆づくり 《教育相談等のサポート体制づくり》 ・S C、S相やSSW等を活かす相談体制の整備 ・校内教育支援センター「ほっとプレイス」 ・教育支援センターやフリースクール等との連携による学習保障</p>	<p>●SOSの出し方教育、性被害から守る予防教育</p> <p>《SOSの出し方・受け止め方に関する教育》 ・相談窓口の周知、電話やメールでの相談 ・S C、S相、養教とのT T指導による授業（ロールプレイ、小中学生用啓発教材、自殺予防啓発動画の活用等） 《性被害から守る予防教育》 ・「セーフティファイブとプライベートゾーン」教育 ・心と身体を守る「くもくん教室」（県警） 《教員・保護者研修》 ・性被害、児童虐待等の防止（県警との連携） ・司法面接と初期対応の研修/DVD ・児童虐待等の認知時における初期対応</p>	<p>●生命尊重、生きる喜びを実感する体験活動</p> <p>《道徳教育・人権教育》 ・外部講師の参画、体験活動や討議等を取り入れた教育活動の工夫、道徳科の授業改善 ・全教育活動を通じた人権教育の推進 《体育・保健体育》 ・心と体のつながりを考える<小5年> ・心の発達、欲求と心の健康<中2年> 《特別活動（学校行事、学級活動）》 ・芸術文化活動を通じた情操の涵養 ・多様な生き方への気付きの喚起 《総合的な学習の時間》 ・医療等の専門家と共に考えるかけがえのない生命とよりよく生きること（小中）</p>

▶ 西濃教育事務所の取組

■市町（組合）教育委員会との連携

- ・教育長会や市町（組合）教育委員会の担当者との連絡会で、本事業の説明、周知と、好事例の紹介をする。
- ・いじめ対策連絡会議等で、取組状況を確認、交流する。
- ・管内の「SOS の出し方教育（SC 活用）」「がん教育」「夢や目標を語る取組」等の事例について収集し、好事例を発信する。

※大垣市・海津市（日新中）・垂井町（不破中）：がん教育、神戸町：助産師によるいのちの教育等

※西濃教育事務所の HP 掲載、拡充

■園・学校訪問事業

- ・要請訪問（教科、特別活動、総合的な学習の時間等）において、管理職や研究主任、研修主事等に「ぎふ いのちの教育」について啓発を図り、取組を確認する。
- ・道徳教育計画訪問において、市町（組合）教育員会担当者同席のもとでの、「いのちの教育」にかかる協議会を位置付け、参加校（中学校区）の「自己有用感、夢や希望、生命尊重の心」を育む取組の交流、価値付けをするとともに、今後の取組の確認を行う。
- ・温かい人間関係づくりとして「考えを広げ深める対話活動」に注目し、その指導の方途等について、学校訪問や教科研、校長会等を含めた各種研修会で助言する。また、教科等の指導を、生徒指導の実践上の視点（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）で分析し、授業研究会で価値付け、方向付けする。

■健康教育支援事業「いのちの授業」

- ・揖斐川町立北和中学校の全生徒を対象に、寺澤大祐医師による講義を実施し、西濃管内の小・中学校へ広げる。

※西濃教育事務所の HP 掲載

■学校職員課訪問

- ・学校職員課訪問において、管理職・生徒指導主事から取組状況の報告を受け、価値付けや助言を行う。

■研修事業

- ・経年研修（初任者、6年目、中堅）や職務研修（人権教育、学校安全、学校保健）、教育課程研究協議会等のすべての研修において、研修内容に応じて、全教育活動での位置付け、指導計画・教材等の整備、授業改善（体験活動・外部人材）の推進を図る。

■生徒指導訪問・研修

- ・生徒指導訪問とともに、生徒指導連携強化委員会、学校警察連携協議会、主幹教諭連絡協議会、特別支援教育連携協議会等の会議において、学校と関係機関が連携し、安全指導、学級の居場所と絆づくり、誰一人取り残さない指導への意識を高める。